第3次
東松山市
環境基本計画

はじめに

私たちのまち東松山市は、比企丘陵のみどりと清流の織り成す自然に抱かれながら、いのちを育み、歴史と文化を培ってまいりました。この豊かな自然を守るため、これまで市民の皆様や事業者の方々とともに様々な施策を進めてきたことにより、本市の自然環境はおおむね良好に保たれています。

しかしながら、近年では都市化の進展などに伴って身近な自然との結びつきが薄れつつあります。また、記録的な猛暑や集中豪雨、台風などの異常気象により、世界各地で様々な自然災害が発生しており、本市においても被害が発生しています。

こうした課題に取り組むためには、私たち一人ひとりが、美しく豊かな自然環境のもとに自らの暮らしが成り立っていることを強く認識し、身近な自然環境を守り、次世代に引き継いでいくための努力を重ねていくことが最も重要です。

この度、計画策定から５年が経過し、生活環境や社会情勢などに対応するため、また本市の最上位計画である第六次東松山市総合計画などの関連計画との整合性を図る必要性をふまえ、計画の見直しを行いました。

見直し後も引き続き計画実現に向けて、市民の皆様や事業者の方々と協働しながら総合的かつ計画的に取組を進めてまいります。

結びに、計画の見直しにあたり御尽力いただきました、東松山市環境審議会委員の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、今後とも本計画の実現により一層の御指導、御協力を賜りますようお願いいたします。

2026 年３月

東松山市長　森田　光一

目　　次

第１章　計画の基本的事項 1
１．策定の目的 1
２．計画の位置づけ 2
３．計画の期間 2
４．計画の対象 3
（１）対象地域 3
（２）対象とする範囲 3
５．計画の構成 4
第２章　計画策定の背景 5
１．本市の地域概況 5
（１）地勢と位置 5
（２）人口及び世帯数 6
（３）地形 6
（４）土地利用 7
（５）気候 9
（６）生物多様性 9
（７）河川水質 11
２．社会的背景 12
（１）気候変動と温室効果ガス排出削減に向けたパリ協定の締結 12
（２）廃棄物に関する問題 14
（３）生物多様性保全に向けた動向 15
（４）持続可能な開発のための２０３０アジェンダ（持続可能な開発目標：ＳＤＧｓ） 16
（５）災害や新型ウイルスの流行を契機とするライフスタイルの変化 17
３．環境に関するアンケート調査結果（概要） 18
４．第２次計画における指標達成状況一覧 20
５．第２次計画の定性評価 21
６．第２次計画から第３次計画への変遷について 24
第３章　計画の目標 25
１．基本理念 25
２．環境目標・施策の体系 26
第４章　目標実現のための取組 28
環境目標Ⅰ　脱炭素に向けた暮らしを推進するまち《東松山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）》 28
（１）温暖化に関する社会情勢と本市のこれまでの取組 28
（２）計画の基本的事項 31
（３）温室効果ガス排出量の推計・要因分析 32
（４）削減目標の設定と削減対策 33
（５）現状と課題 37
（６）基本施策（目指すべき方向性） 38
（７）ＳＤＧｓとの関連性 39
（８）行政、市民、事業者の取組 40
（９）想定される市民プロジェクト 43
（１０）成果指標 43

環境目標Ⅱ　廃棄物の削減と資源循環に取り組むまち 45
（１）現状と課題 45
（２）基本施策（目指すべき方向性） 46
（３）ＳＤＧｓとの関連性 47
（４）行政、市民、事業者の取組 48
（５）想定される市民プロジェクト 50
（６）成果指標 51
環境目標Ⅲ　生き物、自然と共生するまち 52
（１）現状と課題 52
（２）基本施策（目指すべき方向性） 53
（３）ＳＤＧｓとの関連性 54
（４）行政、市民、事業者の取組 55
（５）想定される市民プロジェクト 58
（６）成果指標 58
環境目標Ⅳ　安全で快適に暮らせる生活環境が整ったまち 60
（１）現状と課題 60
（２）基本施策（目指すべき方向性） 61
（３）ＳＤＧｓとの関連性 62
（４）行政、市民、事業者の取組 63
（５）想定される市民プロジェクト 66
（６）成果指標 66
環境目標Ⅴ　市民・地域のチカラが発揮される協働のまち 67
（１）現状と課題 67
（２）基本施策（目指すべき方向性） 68
（３）ＳＤＧｓとの関連性 69
（４）行政、市民、事業者の取組 70
（５）想定される市民プロジェクト 73
（６）成果指標 73
第５章　計画の推進体制・進捗管理 74
１．推進体制 74
２．進捗管理 75
３．財源の確保と市民プロジェクトへの支援 75

資料編 76
１．計画見直しの経過 77
２．東松山市環境審議会委員 77
３．用語の解説 78